

目指す学校像	『本太中 一步前へ』 生徒、教職員一人ひとりの自己実現が図れる学校
--------	-----------------------------------

重点目標	1 学びの自律化及び協働的な学びの充実 2 自由の相互承認 すべての子どもが「自由」に生きられるための力をはぐくむ 3 地域とともにある学校づくりの推進 4 持続可能な働き方と危機管理の徹底
------	--

※重点目標は4つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学 校 自 己 評 価							学校運営協議会による評価		
年 度 目 標			年 度 評 価				実施日令和 年 月 日		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等	
1	【学力向上に関する取組】 (現状) ○全国学力・学習状況調査において、国語・数学・英語の結果は、全国、市平均と比べ、大変良好な結果である。 ○全国学力・学習状況調査において、「国語・数学・英語の勉強は好きですか」の質問に肯定的な回答をした生徒の割合は、全国・県平均を上回っている。 (課題) ○全国学力・学習状況調査において、「家で自分で計画を立てて勉強していますか」の質問に対し肯定的な回答をした生徒の割合が僅かではあるが県平均を下回っている。	・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 ・すべての生徒が授業に集中できる教室環境の整備(ユニバーサルデザインの視点による教室環境整備)	①個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた授業を展開するため、ICTを活用した授業公開を行う。 ②全国学力・学習状況調査の結果を分析し、授業改善につなげる。 ③校内教育支援センター(Sola ルーム)の組織的運営により生徒への適切な支援を行う。 ①学級担任によるユニバーサルデザインの基づいた教室環境を整備する。 ②各授業において、ユニバーサルデザインの基づいた板書、資料提示を実行する。	①全ての教員が ICT を活用した授業に積極的にチャレンジし、公開授業が1回以上行われたか。 ②全国学力・学習状況調査の結果が分析されており、授業改善の方向が示され実践されているか。 ③オンライン授業や ICT の活用など、Sola ルームで個別の学習をする支援がされているか。 ①ユニバーサルデザインに基づいた教室環境が整備、調整されているか。 ②ユニバーサルデザインに基づいて、板書が構造化されているか。また、ICT機器の活用を含め、資料の提示が効果的にされているか。					
2	【安心・安全に関する取組】 (現状) ○全国学力・学習状況調査において、「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問や、友達関係に満足していますか」の質問に肯定的な回答をした生徒の割合は、全国・県平均を大きく上回っている。 (課題) ○全国学力・学習状況調査において、「将来の夢や目標を持っていますか」という質問に対して「当てはまる」や「どちらかと言えば、あてはまる」と回答した生徒の割合は、県、市平均を下回っている。 ○学校施設の老朽化とそれに伴うリフレッシュ工事への対応が必要である。	・生徒一人ひとりの人権を尊重した生徒指導の充実 ・安全な教育環境の維持と校舎リフレッシュ工事における安全の確保	①毎朝の健康観察、スクールダッシュボードの入力結果、生徒の会話等から小さな変化も見逃さない意識を高める。 ②生徒指導、人権教育の校内研修を行い、教職員の資質を高める。 ③生徒主体の活動を奨励し、適切な支援を行うことで、生徒の自己肯定感と相手を尊重する態度を育てる。 ①定期、臨時の安全点検により、不具合や危険箇所を早期に発見し、迅速、適切な対応を行う。 ②施工業者等との定期、臨時の打ち合わせを行い、生徒の安全を確保する。	①各学級で担任等による生徒の観察が適切に行えており、円滑な1日の始まり、適切な声掛け、丁寧な支援が行われているか。 ②生徒指導、人権教育の校内研修が行われ、人権を尊重した教育活動が展開されているか。 ③生徒主体の活動が奨励されているか。生徒の自己肯定感と相手を尊重する態度が養われているか。 ①施設等の瑕疵を見逃さずことなく、修繕を行うことができたか。 ②リフレッシュ工事における事故ゼロを達成できたか。					
3	【開かれた学校づくりに関する取組】 (現状) ○学校運営協議会に生徒が参加し、委員の方と直接意見交換をすることなどを通じて、地域の方の学校への理解が進んでいる。 ○全国学力・学習状況調査において、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の質問に対して肯定的な回答をした生徒の割合は、県、市平均を上回っている。この状況を開かれた学校づくりの推進に活かしていきたい。 (課題) ○学校 Web ページの更新頻度は高くない。他の方法をふくめ、積極的な情報発信に課題がある。 ○学校運営協議会をはじめ、地域住民等からの意見を積極的に取り入れ、本校の教育活動への地域住民等の参画意識を高める。	・学校だよりや学校 Web ページを活用した積極的な情報発信と、学校に関心をもつていただく取組の充実 ・生徒が地域に関心を高めるための取組の充実	①学校だよりの充実、学校 Web ページの定期的な更新、報道機関への情報提供等により、学校の情報を広く公開する。 ②学校開会、保護者会等の際に、学校行事等の動画の放映を行う。 ①集団下校訓練の際に地域の方による講話をいただき、生徒に地域の一員であるという意識を高める。 ②学校地域連携コーディネーターを窓口とし、生徒へ地域の行事やボランティア活動を紹介し、積極的な参加を呼びかける。	①学校評価における情報発信の項目の肯定的回答が90%以上となったか。 ②学校行事や保護者会等において、動画の放映がされているか。 ①地域の方による講話が行われたか。 ②ボランティアの紹介が適切に行われ、生徒がボランティア活動に積極的に取り組んでいるか。					
4	【教職員の資質向上に関する取組】 (現状) ○学校課題研究を中心に、校内研修が計画的に行われている。 ○ICT 機器の活用について、多くの教員が積極的に研修し、授業で活用している。 (課題) ○前例踏襲ではなく、常に改善していく意識付けが求められる。	・改善と創意を根底に据え、変化、挑戦を奨励する組織の醸成	①教職員がキャリア段階を意識した研修計画を立案し、それに基づいた研修を行う。 ②本太中教職員としての精神を示し、教職員が社会・地域における学校の在り方について考え、教職員としてプライド、資質を確認、意識する。 ③研修主任を中心に組織的な校内研修を行い、教師の授業力を向上させる。	①教職員が計画した人事自己評価における研修が計画通り進められたか。 ②本太中教職員としてのあり方が示され、同僚性が高まり、意欲的に職務に従事することができたか。 ③学校評価における校内研修推進についての肯定的評価が90%以上となったか。					